

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援みらいキッズ東陽町		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との意思疎通や情報共有	何かあったときは、その日のうちに保護者に伝えるようにしている	帰りの際にもう少し話をして、保護者から児童の情報を聞けたら良いと考えている
2	同じ会社の他事業所との連携ができています	事業所が近いことから児童や保護者のことなどで連携がとれている	管理者同士だけではなく、指導員同士でも連携をとっていく
3	プログラムを工夫している	短時間集中型の巧緻動作の反復を行うことで、脳の作業野(ワーキングメモリー)の強化を促し就学に向けた総合的なスキルを身に付ける脳の容量拡大の一助とするために行っている	個別活動をもっと取り入れていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携	支援学校や支援級や地域とのやりとりがあまりないことから何かできることを考えていきたい	支援学校、支援級の先生と日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら連携できることを検討していく
2	子ども同士の関りが短め	子どもたち同士が関われるプログラムを考えている	集団活動を多くして関りを増やしていく
3			